

復習

● 奴隷貿易

- 独占から民間競争へ
- ヨーロッパでの準備(6-12)
- アフリカでの交渉(3-6)
- 大西洋横断(1-2)

奴隷貿易の実際（アフリカーアメリカ）

● 中間航路(Middle Passage)：1-2ヶ月

- 奴隷廃止論の非難が集中した部分
 - 高い死亡率、非人間的環境（詰込み過ぎ）
- 議論の誤り
 - 死亡率が最も高いのはアフリカ滞在時
 - 死亡の原因
 - 消化器系の病気：赤痢（多くはアフリカで感染）
 - 熱病：黄熱病、マラリア
 - 喧嘩、体罰
 - 奴隷管理技術の発達
 - 食糧・水の補給
 - 健康管理

奴隷貿易の実際（アメリカにて）

- 現地代理人が販売を組織
 - オークション形式
 - 大半は素早く販売
 - 売れ残りは委託
 - 支払いの大半は信用
 - ⇒取り立てに時間がかかる（18－24ヶ月）
 - 現金は25％程度
 - 若干の現物：砂糖、タバコなど

奴隷貿易の実際 （アメリカーヨーロッパ）

- 帰路：2ヶ月
 - 積荷は少ない
 - →船員の多くはアメリカで解雇

⇒三角貿易は成立しない
- ヨーロッパにて
 - 船員への運賃の支払い（大量の現金）
 - 積み荷を専門商人へ売却
 - 資金の回収作業（1－3年）

⇒1回の奴隷貿易は4－6年かかる

奴隷貿易の特徴

- 奴隷供給者優位の市場
 - 独占が無い
 - わがままなアフリカ人消費者
 - →イスラムとの取引を通じて市場交渉に熟知
- コストが高い
 - アフリカ向け商品のコスト
 - 滞在コスト
- 儲けは10%程度
 - 売却金の回収に時間：3年
 - 奴隷貿易はとても儲かる⇒誤り
- 専門的な知識が必要

アフリカへの影響は？

- ①経済的影響
 - 通説：
 - ヨーロッパ⇒アフリカ 大量輸出
 - アフリカの地場産業の破壊
 - アフリカの経済的従属
- ②人口的影響
 - 通説：
 - 大量の壮年男子の人口流出
 - ⇒労働力減＞産業へのダメージ
 - ⇒男女不均衡：出生率の低下

経済的影響

輸入品によってインパクトはまちまち
⇒いちがいに経済破壊とは言えない



- 輸入品 影響
 - 衣料 ⇒地場産業存続、再加工産業の活性化
 - 金属：鉄と銅 ⇒鉄鉱業衰退、再加工産業は拡大
 - 貨幣：貝殻 ⇒交換経済の活性化＋商業網の発達
 ＝生産業も拡大
 - 非実用品
 - 宝石、おもちゃ、
アルコール、タバコ ⇒タバコ：現地生産の開始

輸入品のアフリカ経済に占める割合は5%程度？

奴隷貿易の実際（アフリカで）

- 長期間滞在：4-8ヶ月
 - 理由：奴隷は少数ずつ買い集める
 - →アフリカの商人に依存
 - 平均400人の奴隷
- 滞在・取引のコストは高い
 - アフリカ商人・役人への支払い
 - 船員・奴隷への食糧供給・健康管理
→死亡率10%

人口的影響①

- 大西洋向けの輸出総数 900～1200万人
- 年平均
 - 17世紀前半まで 年間1万人未満
⇒サハラ砂漠経由の輸出のほうが大きい
 - 17世紀後半 年間1～2万人
⇒サハラ砂漠経由の輸出を上回るが、
金や香料輸出よりも小さい
 - 18世紀前半～ 4～8万人
⇒奴隷が最大の輸出商品に

人口的影響②

17世紀までは、輸出のインパクトは小さい

18世紀：アフリカの人口は？

奴隷貿易の影響する地域には2500万人

人口成長率：年0.5%前後

年間12万人前後の人口増加

⇒約半数が毎年流出

＋青年人口流出、暴力、域内の奴隷増加

⇒影響は大きい

影響の地方差：

黄金海岸地方：顕著な人口減少はみられない

ロアンゴ地方：ゆっくりとした人口減少

ベニン地方：人口が半数に cf象の増加

アメリカでの奴隷輸入先

①スペイン領：200万人弱：半分以上は18c以降

キューバ、プエルトリコへ

②ポルトガル領ブラジル：約400万人;80%は18-19c

③英・仏・蘭領カリブ：約400万人;17c末から18c末

④アメリカ合衆国：約50万人;主に18c